

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名(遺産に関する紛争) 審判
この申立書を提出する裁判所名 円 円	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。) <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 10px auto; text-align: center;">印紙</div> (貼った印紙に押印しないでください。)

この申立書を作成した日 平成 年 月 日	水戸 家庭裁判所 支部 御 中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印 甲野 一郎 印
-------------------------	---------------------------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 申立人の戸籍謄本1通 相手方の戸籍謄本1通 被相続人の戸籍謄本1通 不動産登記簿謄本1通	<input type="checkbox"/> 領
------	---	----------------------------

申立人	本籍(国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道府県 市 町 丁目
	住所	〒 茨城県 市 xxx 丁目 番号 号 (方)
	フリガナ氏名	コウノイチロウ 大正 年 月 日生 甲野 一郎 昭和 平成 (歳)
相手方	本籍(国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道府県 市 町 番地
	住所	〒 茨城県 市 xxx 丁目 番号 (方)
	フリガナ氏名	オツカワハナコ 大正 年 月 日生 乙川 花子 昭和 平成 (歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 立 て の 趣 旨
別紙遺産目録記載の土地・建物が、被相続人亡甲野太郎（本籍 県 市 町 番地、最後の住所は相手方に同じ）の遺産であることを確認する調停を求めます。

申 立 て の 理 由
1 申立人と相手方とは、被相続人亡甲野太郎の長男と長女であり、被相続人の相続人は、申立人と相手方のみです。被相続人は、平成 年 月 日に死亡し相続が開始しました。
2 被相続人は、亡くなる数年前から、認知症になり、亡くなるときには自分で財産の管理もできない状態でした。
3 別紙遺産目録記載の土地・建物は、被相続人が亡くなる直前に、相手方が、被相続人の実印を持ち出し、自己の名義に変更したものであるにもかかわらず、相手方は、これを自己の財産であると主張しています。
4 そこで上記土地・建物が被相続人の遺産であることの確認を求めるため、この調停を申し立てます。